

～生育概要～

病害虫の発生は全般的に少なく、生育は概ね順調です。なお、このまま高温傾向が続けば、収穫時期は例年より早まると思われます。

8月31日 現在	温度(°C)			日照時間(h)			降水量(mm)		
	平年	今年	平年差	平年	今年	平年比(%)	平年	今年	平年比(%)
6月	22.6	23.8	1.2	136.7	139.3	101.9	243.3	161.0	66.2
7月	26.8	28.4	1.6	174.9	161.9	92.6	294.1	443.5	150.8
8月上旬	28.3	30.6	2.3	73.8	74.6	101.1	49.5	59.0	119.2
8月中旬	27.8	28.0	0.2	65	62.1	95.5	73.1	30.0	41.0
8月下旬	26.8	28.9	2.1	64.1	68.6	107.0	88.4	26.0	29.4

1. 収穫までの水管理

できるだけ遅くまで間断灌水を継続し、粒を充実させましょう！

- ・ 穂揃期以降は、間断灌水（入水し自然に水が無くなるまで溜めておき、1～2日程度水を入れない状態を保つ）を行いましょう。
- ・ 収穫間際（出来れば収穫の1週間前）まで間断灌水を行い、落水時期を遅くしましょう。収穫直前まで、籾の粒は充実します！

台風対策

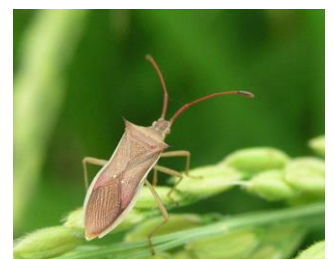
台風シーズン到来です。強風による脱水症状や葉先枯れ、さらには葉先の裂傷などで光合成能力が低下し、くず米が増える懸念があります。**台風襲来時は必ず深水で管理しましょう。**

稲刈り間際に台風が来るような場合には、台風襲来前に稲刈りを終わらせましょう。台風対策は前もって行い、**風雨が強い時間帯に圃場に行かないよう**にしましょう。

2. 病害虫の発生状況（9/1 現在）

（1）斑点米カメムシ類

平年並みの発生で経過していますが、出荷される場合、斑点米は等級が下がる原因となりますので、防除を検討してください。畔草刈りは出穂後3週間程度経過してから行いましょう。草刈りが早すぎるとカメムシに乳熟期から糊熟期の籾を吸われ、斑点米が発生します。



ホソハリカメムシ

（2）イネカメムシ

イネカメムシについては、本年も出作圃場の夢つくしで発生が確認されたことを、稲作だより2号でお伝えしていましたが、8月中旬以降、元気つくしやヒノヒカリの出穂に伴って、ほぼ管内全域で発生が確認されました。圃場での発生量はそれほど多くはありませんでしたが、一部で防除を行いました。次年度は発生量の増加が懸念されます。なお、**出穂期が遅いヒヨクモチにイネカメムシが集まる可能性もあります**ので、念のため発生に注意してください。



特に、ヒヨクモチを栽培されている方でイネカメムシを圃場で多く見かけるような場合は、JA本店又は支店までご一報お願いします。

(3) いもち病・紋枯病

いもち病は全般的には少発生です。紋枯病は発生が目立つ圃場もありますが、全般的には少発生です。



穂いもち



紋枯病

(4) トビイロウンカ(秋ウンカ)

現時点で、管内の圃場においては確認できておりませんが、最後まで気を抜かず稲刈りまでご自分の圃場は注意して観察しましょう。



トビイロウンカ



坪枯れ

4. 収穫について

籾の8割程度が黄色になった時期が収穫適期です。適期収穫に努めましょう！

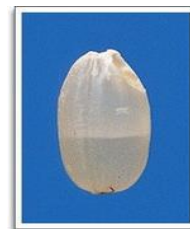
(1) 収穫適期予想 出穂期後の積算気温(9月1日以降は平年値)により収穫適期目安を算定

品種	田植	出穂期	収穫適期予想
夢つくし	5/20	7/26	8/26～8/31
	5/27	7/31	8/31～9/5頃
	6/10	8/10	9/12～9/17頃
元気つくし	5/20	8/1	9/2～9/7頃
	6/3	8/11	9/15～9/20頃
	6/10	8/13	9/17～9/22頃
	6/17	8/17	9/22～9/27頃
	6/24	8/21	9/27～10/3頃
ヒノヒカリ	6/3	8/21	9/27～10/2頃
	6/10	8/24	10/1～10/6頃
	6/17	8/26	10/4～10/9頃
	6/24	8/28	10/7～10/12頃
ヒヨクモチ	6/17	9/4	10/19～10/24頃
	6/24	9/6	10/22～10/27頃

収穫適期は、圃場毎の出穂期(田植え日が同じでも、立地条件、水管理や施肥状況、病害虫の発生状況、田植時の苗質などで多少変動します)や今後の天候、圃場の栄養条件などで変わります。小出来の圃場は熟れが早くなる傾向があります。ご自分の圃場を確認して、上記表を参考に稲刈りを行って下さい。

※高温の日が続いた場合、上記より収穫適期が早まる可能性があります。

5. 等級を低下させる要因



【胴割れ粒】

(1) 胴割れ（立毛胴割れ）

早期落水した場合に、田んぼの中で胴割れが発生します。

できる限り落水時期を遅くし、適期収穫を行いましょ！

収穫日近くまで水を溜めておく事で、粒張りも良くなります。

(2) ヤケ米

収穫した籾を炎天下に置いていたり、コンバイン袋に入れて放置していると、カビや細菌等の微生物の影響により、ヤケ米が発生します。

収穫後は出来るだけ早く（出来れば収穫後2～3時間以内）乾燥機に入れましょ！！

6. 収穫機の掃除と収穫期の安全対策

清掃や点検を徹底し、事故を防ぎましょ！！

(1) コンバインや乾燥機・籾摺機の清掃を十分に行い、異物等の混入や、コクゾウムシ等の害虫が発生しないようにしましょ！！

(2) コンバイン作業は、巻き込まれ事故や転倒・転落、**移動時には周囲の安全確認を十分**に行いましょ！作業中に**詰まったらエンジンを切り点検する**事を徹底しましょ！

(3) コンバイン等を**バックさせる場合**には、周囲に知らせるため**ホーン**を鳴らしましょ。

7. 乾燥について

適正水分に乾燥するために(水分 15.0%仕上げの場合) 機種・メーカーにより異なります

青米粒数(100粒中)	乾燥仕上設定水分	乾燥停止後の水分変化
0-5粒	15.5-15.1%	0.5%程度乾く
6-10粒	15.0-14.6%	ほとんど変わらない
11粒以上	14.5%	0.5%程度戻る

① 上表のように、青米の入り方によって乾燥機を止めた後に水分が増減します

青米の入り方によって、乾燥仕上設定水分を調整しましょ。乾燥機の水分計と手持ちの水分計には誤差がある事があります。

水分18～19%時に一度乾燥機を6時間程度止め、籾水分を均一化しましょ。

その後、**16%時にもう一度止め、手持ちの水分計で水分を測定し誤差を把握**しましょ。

水分計は土井倉庫・多々良支店・月隈支店にもありますのでご活用下さい。

② **張込量に見合った穀物量ダイヤル**に設定しましょ。

基本的な事です、張込量が半分ぐらいであるにも関わらず、穀物量ダイヤルが半分を遥かに超えている。そんな事はありませんか？

それでは、熱風温度が高くなり、過乾燥になるだけでなく胴割れも発生してしまします。

8. 米の出荷について

令和5年産米の集荷に向けて**新規出荷者の募集**を行っております。

また、同時に**令和4年産以前の米の集荷も**行っております。古米は出荷して頂き、皆様方には、新米を味わっていただきたいと考えておりますので、是非ご出荷下さい。

集荷に関するお問い合わせは営農生活課へお願いいたします。

地球温暖化対策

稲わらを秋にすき込み、腐熟を促進させることで、温室効果ガスの一つであるメタンの発生を軽減できます。・・・稲の生育にも良く地球にも優しい方法です！

—内容に関する問い合わせは営農生活課 白垣・井手口または福岡普及指導 C まで—
JA 福岡市東部 営農生活課：621-4696

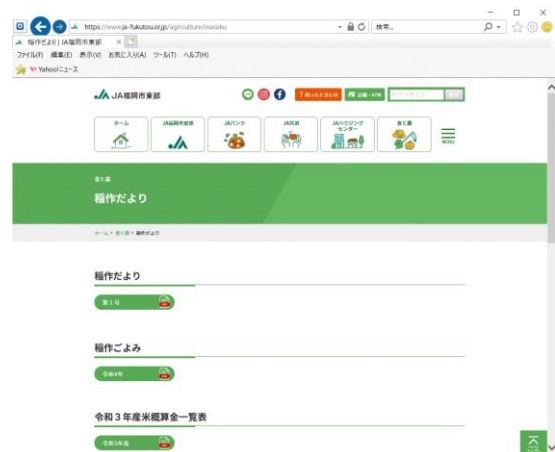
営農情報について

①最新の情報を LINE でお届けいたします。

営農情報（稲作だより等）を「JA 福岡市東部 営農情報」の LINE でも発信しております。下記の QR コードから LINE のご登録をお願いいたします。



②稲作だより等の情報が下記の QR コードよりご覧いただけます。



※今後の発行スケジュールですが、「稲作だより 4号」を年末にと考えておりますので、ご参考下さい。